

Ⅶ. 私費外国人留学生選抜

1. 試験 期 日 令和 6 年 2 月 2 5 日 (日) ・ 2 月 2 6 日 (月)
2. 出 願 期 間 令和 6 年 1 月 2 2 日 (月) ～ 2 月 2 日 (金)
3. 合 格 者 発 表 令和 6 年 3 月 7 日 (木)
4. 出 願 資 格

次の各号にすべて該当する者

- (1) 日本国籍を有しない者（日本の永住許可を得ている者を除く。）
 - (2) 外国において、学校教育における 1 2 年の課程を修了した者(令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む。)若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
※詳細については、以下、文部科学省のホームページをご参照ください。
(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm)
 - (3) 独立行政法人日本学生支援機構が令和 5 年 6 月または 1 1 月に実施する「日本留学試験」を受験した者（3 2 ～ 3 3 ページ参照）で、日本語の「記述」の得点が 2 5 点以上の者
 - (4) 本学が指定した課程及びプログラム・専攻等においては、本学が指定する期間の英語検定試験の TOEFL を受験した者（3 2 ～ 3 3 ページ参照）
5. 入 学 者 選 抜 方 法
- (1) 合格者の選考は、日本留学試験、英語検定試験の TOEFL（指定した課程及びプログラム・専攻等に限る。）の成績、本学が行う学力検査等の成績及び提出書類を総合して行います。
 - (2) 順位は、日本留学試験、英語検定試験の TOEFL の成績及び本学が行う学力検査等の成績の合計得点の高得点順とします。
 - (3) 同点者は、本学が行う学力検査等の成績の高得点者を上位とします。
 - (4) 日本留学試験のうち、日本語は「読解」と「聴解・聴読解」の合計得点を使用します。
 - (5) 面接の評価は、原則として A・B・C で評価し、その評価が C の者は不合格とします。
ただし、中等教育教員養成課程中等教育プログラム美術専攻、中等教育教員養成課程中等教育プログラム書道専攻、特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラム、特別支援教育教員養成課程特別支援教育中等教育プログラムにあつては、面接の評価を点数化します。
 - (6) 学力検査等
学力検査等は、3 2 ～ 3 3 ページを参照してください。

① 学力検査等について

課程及びプログラム・専攻等		学力検査等の内容	試験日	
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム	面接, 小論文	25日・26日のいずれかの日または両日で行われます。(詳細については、募集要項にて確認してください。)	
	小学校教育専攻プログラム	面接, 小論文		
	人文・社会教育プログラム	面接, 小論文		
	理数教育プログラム	*1数学または*2面接(口頭試問を含む。)		
	芸術・実技教育プログラム	(音楽系科目)		面接, 実技検査, 音楽理論
		(美術系科目)		面接, 実技検査
(体育系科目)		面接, 実技検査		
(家庭系科目)		*2面接(口頭試問を含む。)		
(技術ものづくり系科目)		*2面接(口頭試問を含む。), 小論文		
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻		国語
		社会科専攻		*2面接(口頭試問を含む。), 小論文
		数学専攻		数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B
		理科専攻		*2面接(口頭試問を含む。)
		英語専攻		*2面接(口頭試問を含む。)
		音楽専攻	面接, 実技検査, 音楽理論	
		美術専攻	面接, 実技検査	
		保健体育専攻	面接, 実技検査	
		家庭専攻	*2面接(口頭試問を含む。)	
		技術専攻	*2面接(口頭試問を含む。), 小論文	
書道専攻	面接, 実技検査			
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	*2面接(口頭試問を含む。)		
	特別支援教育中等教育プログラム	*2面接(口頭試問を含む。)		

※1 初等教育教員養成課程理数教育プログラムの「数学」は、数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数Bを出題範囲とします。

※2「面接(口頭試問を含む。)」の内容は、次のとおりとします。

- ・初等教育教員養成課程理数教育プログラムの面接では、理科に関する理解力についての口頭試問を含みます。口頭試問では、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1つ選択します。
- ・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム家庭系科目の面接では、家庭に関する理解力についての口頭試問を含みます。
- ・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム技術ものづくり系科目の面接では、技術に関する理解力についての口頭試問を含みます。
- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム社会科専攻の面接では、社会科に関する理解力についての口頭試問を含みます。
- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム理科専攻の面接では、理科に関する理解力についての口頭試問を含みます。口頭試問では、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1つ選択します。
- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム英語専攻の面接では、英語運用能力を確認するための英語による口頭試問を含みます。
- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム家庭専攻の面接では、家庭に関する理解力についての口頭試問を含みます。
- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム技術専攻の面接では、技術に関する理解力についての口頭試問を含みます。
- ・特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラム及び特別支援教育中等教育プログラムの面接では、学校教育における12年の課程またはそれに準ずる課程で身につけた基礎的な学力をもとにした、本課程の学生として求められる基礎的な能力についての口頭試問を含みます。

② 日本留学試験及びTOEFLについて

課程及びプログラム・専攻等		出題言語	日本留学試験教科・科目	TOEFL	
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム	日本語	B 又は D	×	
	小学校教育専攻プログラム		A 又は G 又は H	×	
	人文・社会教育プログラム		B	×	
	理数教育プログラム		E	×	
	芸術・実技教育プログラム		(音楽系科目)	A 又は G 又は H	×
			(美術系科目)	A 又は G 又は H	×
(体育系科目)			B 又は D	×	
(家庭系科目)			B 又は D	×	
(技術ものづくり系科目)			C 又は F	×	
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム		国語専攻	A	○
			社会科専攻	A	×
			数学専攻	E	×
			理科専攻	E	×
			英語専攻	B 又は C 又は D	○
		音楽専攻	A 又は G 又は H	×	
		美術専攻	A 又は G 又は H	×	
		保健体育専攻	B 又は D	×	
		家庭専攻	B 又は D	×	
		技術専攻	C 又は F	×	
書道専攻	A	×			
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	B 又は D	×		
	特別支援教育中等教育プログラム	B 又は D	×		

(次のページへ続く)

「日本留学試験教科・科目」欄のA～Hは、以下の教科・科目を表しています。

A	日本語, 総合科目
B	日本語, 総合科目, 数学 (コース1)
C	日本語, 総合科目, 数学 (コース2)
D	日本語, 理科 (物理・化学・生物から2科目), 数学 (コース1)
E	日本語, 理科 (物理・化学・生物から2科目), 数学 (コース2)
F	日本語, 理科 (物理・生物), 数学 (コース2)
G	日本語, 数学 (コース1)
H	日本語, 理科 (物理・化学・生物から2科目)

注1. 複数回受験した場合は、高い方の総合点を用います。

注2. 日本留学試験の教科でどちらかを選択することになっている課程及びプログラム・専攻等の受験者でそのどちら
も受験しているものは、得点の高い方を用います。

注3. 「TOEFL」欄で○印は英語検定試験のTOEFLを課します。

注4. TOEFLの有効期間は、令和4年1月以降の試験成績を有効とします。